

# 実績紹介

## 総合内科

### 【平成 29 年度 症例検討会開催状況】

(単位：人)

回	日時	テーマ	発表者	疾患	参加者		
					計	院内	院外
第 28 回	5/25	吃逆を主訴に受診した高血圧を認める 47 歳男性	坂野 遼	褐色細胞腫	22	22	0
第 29 回	9/14	咽頭不快、食欲不振のため受診した 79 歳女性	西村 允邦	バセドウ氏病	22	21	1
第 30 回	12/7	発熱、咳嗽のため受診した 19 歳女性	阪井 貴美子	デング熱	22	21	1
第 31 回	3/1	持続する発熱、全身倦怠感を主訴に受診した 65 歳女性	五十嵐 友輔	急速進行性糸球体腎炎(抗糸球体基底膜腎炎)	26	25	1

※場所：市立大津市民病院 会議室 A/B (本館棟 9F)

## 内科

### 【平成 29 年度の主な診療実績】

糖尿病・内分泌		
糖尿病教育入院		20 例
糖尿病チーム介入(延べ)		227 例
外来透析予防指導		60 例
サンプリング(副腎・選択的 Ca 負荷)		0 例*
甲状腺エコー(内科分)		0 例*
腎臓		
腎生検		23 例
新規透析導入		13 例
血液浄化療法実施回数		8,322 回
血液		
骨髄穿刺		99 例
化学療法	入院(延べ)	578 件
	外来(延べ)	310 件

(LCAP/GCAP : 38 回、PE/DFPP : 27 回)

\*担当者一時休職のため平成 29 年度は実績なし

# 消化器内科・消化器内視鏡センター

## 【平成 29 年度の主な診療実績】

### <消化器内視鏡検査・治療件数>

(単位：件)

検査名称	件数	検査名称	件数
上部消化管検査・治療 (うち上部消化管ESD)	6,417 (45)	胆・膵内視鏡検査・治療	168
下部消化管検査・治療 (うち下部消化管ESD)	2,400 (29)	超音波内視鏡検査・治療	294
		<b>合 計</b>	<b>9,279</b>

### <検査・治療件数>

(単位：件)

	検査名称	件数
	大 腸 C T	528
肝臓関連検査	血 管 造 影 (うち TACE)	41 (31)
	R F A / P E I T (うち RFA)	28 (23)
	肝生検 / 腫瘍生検	25
	PTCD/PTGBD/肝膿瘍治療	6/6/6

### <疾患件数>

(単位：件)

消化器がん	化学療法導入(新規)	件数
内 訳	胃 が ん	8
	大 腸 が ん	6
	十 二 指 腸 が ん	0
	肝 が ん	3
	胆 嚢 ・ 胆 管 が ん	4
	膵 が ん	8
<b>合 計</b>		<b>29</b>

炎症性腸疾患(新規)		件数
内 訳	潰 瘍 性 大 腸 炎	20
	ク ロ ー ン 病	4
<b>合 計</b>		<b>24</b>

<b>肝がん(新規)</b>	<b>17</b>
----------------	-----------

<b>C型肝炎 治療導入(新規)</b>	<b>32</b>
----------------------	-----------

# 呼吸器内科

## 【平成 29 年度の主な診療実績】

単位：件(延べ)

項目	件数	項目	件数
気管支鏡件数	102	ポリソムノグラフィ施行件数	81
外来化学療法件数	231	C P A P 療法導入件数	39
入院化学療法件数	339		

# 呼吸器外科

## 【平成 29 年度の主な診療実績】

(単位：例)

疾患分類	症例数
肺 癌	59
転移性肺腫瘍	14
縦 隔 腫 瘍	10
気 胸	17
その他(膿胸、生検、心膜開窓など)	31
<b>合 計</b>	<b>131</b>

# 脳神経内科

## 【主な診療実績の推移】

<ボツリヌス治療件数（延べ）>

（単位：件）

疾患名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
眼瞼痙攣	51	45	45	45
片側顔面痙攣	141	141	131	154
痙性斜頸	31	29	44	43
上肢痙縮	16	8	7	4
下肢痙縮	3	4	4	0
<b>合計</b>	<b>242</b>	<b>227</b>	<b>231</b>	<b>246</b>

# 循環器内科

## 【平成29年（1～12月度）の主な診療実績】

（単位：名）

新規入院患者数	641
---------	-----

<主な検査件数>

（単位：件）

検査名称	件数	
精密負荷ECG	トレッドミル負荷	249
	C P X	37
心臓超音波検査	経胸壁心エコー	3,648
	経食道心エコー	74
ホルターECG	363	
冠動脈CT検査	320	
心臓核医学検査	25	
冠動脈造影検査	378	
不整脈電気生理学的検査	35	

<主な手術実績>

（単位：件）

治療内容	件数	
経皮的冠動脈形成術	待機例	136
	緊急例	43
末梢血管形成術	33	
不整脈アブレーション手術	34	

<リハビリテーション件数>

（単位：件）

治療内容	件数	
心大血管リハビリテーション	新規患者数	171
	延べ件数	4,457

# 精神・心療内科

## 【外来業務実績推移】

	新規患者数（うち院内入院）	のべ患者数
平成 28 年度	521 (109)	7,108
平成 29 年度	565 (124)	7,615

# 小児科

## <平成 29 年度 入院患者症内訳>

(単位：例)

疾患名	件数
急性肺炎	117
急性咽頭炎、扁桃炎、気管支炎 (アデノウイルス、インフルエンザ、手足口病などを含む)	117
急性細気管支炎 (RS ウイルスなど)	55
感染性胃腸炎	44
気管支喘息、喘息性気管支炎	24
川崎病	17
無熱性痙攣、てんかん	16
クループ症候群	14
アセトン血性嘔吐症	9
熱性痙攣	7
尿路感染症、腎盂腎炎、腎膿瘍	7
伝染性単核症	5
ネフローゼ症候群	5
イレウス	5
突発性発疹	5
新生児一過性過呼吸	21
新生児仮死、胎便吸引症候群	8
低出生体重児、早産児	7
遷延性黄疸	5
食物アレルギー負荷試験	27
成長ホルモン負荷試験および開始指導	18
鎮静 MRI 施行のため	20
その他	42
<b>合 計</b>	<b>595</b>

## 外科・消化器外科・乳腺外科

当診療科は全ての外科領域疾患に対応し、地域の方々の医療福祉に貢献できるように日々努力しています。また 24 時間オンコール体制により、虫垂炎、腹膜炎や単径ヘルニア嵌頓などに対する緊急手術に備える一方、食道がん・胃がん・大腸がんなどの消化管がん、肝臓がん・膵がんなどの肝胆膵領域がん、そして乳がんに対し、ガイドラインとエビデンスに基づいたハイレベルな外科治療を、患者さんひとりひとりのご要望に応じて提供できるよう、工夫しています。ヘルニア、肛門疾患（痔疾、直腸脱）などの身近な疾患にも力を入れています。

最も力を入れているポイントは、徹底した低侵襲手術を心がけていることです。患者さんに痛みやダメージを与えない内視鏡手術をあらゆる領域で積極的に導入しており、他院と比べても内視鏡手術の比率はかなり高いものとなっています。当院にはこの規模の病院では異例ともいえる 3 名の日本内視鏡外科学会技術認定医が在籍しています。さらに当院の放射線治療の導入に伴い、がんに対する集学的治療を完全に行える体制が整いました。また、胃がんに対するロボット支援手術を 2015 年 3 月から開始、2016 年 6 月には先進医療の認可を受けました。

当診療科は日本外科学会専門医制度修練施設・指定施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設・認定施設です。日本内視鏡外科学会技術認定医および日本肝胆膵外科学会高度技術指導医も在籍し、各学会専門医・指導医が患者さんの治療を行うと同時に、外科を志す研修医・外科専門医・消化器外科専門医の育成も行っています。

### 【手術症例推移】（各年 1～12 月）

（単位：例）

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
<b>全 手 術 数</b>	<b>750</b>	<b>700</b>	<b>617</b>
鏡視下手術（EMR・ESD は除く）	373	397	373
全麻手術数	599	593	519
緊急手術数	165	142	116

【術式別手術数推移（そのうち鏡視下数）】（各年1～12月）

（単位：例）

術式	平成27年	平成28年	平成29年
食道切除術	6(6)	8(8)	6(6)
食道裂孔ヘルニア手術	3(3)	0	1
幽門側胃切除術 (幽門保存含む)	24(23)* <sup>1</sup>	19(18)* <sup>3</sup>	22(22)* <sup>5</sup>
胃全摘術 (噴切含む)	17(16)* <sup>2</sup>	15(15)* <sup>4</sup>	16(16)* <sup>6</sup>
胃部分切除術	5(5)	2(2)	4(4)
結腸切除術	85(61)	68(5)	77(63)
直腸切除術	20(18)	26(23)	22(20)
直腸切断術 (骨盤内臓全摘含む)	9(6)	4(3)	1
乳癌手術	50	53	33
胆嚢摘出術 (総胆管切石術含む)	77(75)	118(113)	107(107)
肝外胆管切除術	1	0	0
脾摘術	2	2(1)	1(1)
虫垂切除術	48(45)	69(69)	32
成人ヘルニア手術 (鼠径・大腿・腹壁ヘルニア)	118(74)	116(89)	101(77)
小児ヘルニア手術	2(1)	3(3)	2(2)
良性肛門疾患手術 (痔核・脱肛など)	51	40	32
肝切除術（肝臓がん・胆のうがん・胆管がんなどに対する）			
葉切除以上	1	2	1
区域切除 (外側区域切除除く)	6	6	5
亜区域切除	0	1	2
外側区域切除	0	3	0
部分切除 (肝床部切除含む)	6	12(6)	4(3)
総数	13	24(6)	12(3)
膵切除術（膵臓がん・IPMNなどに対する）			
膵頭十二指腸切除術	10	5	8
膵体尾部切除術	4	6(1)	8(1)
膵全摘術	2	1	0
膵中央切除術	1	0	0
膵部分切除術	0	0	0
上記のうち血管再建を伴うもの	2	1	1
総数	17	12(1)	16(1)

\*<sup>1</sup> うちロボット支援手術10例を含む

\*<sup>2</sup> 同6例、\*<sup>3</sup> 同7例、\*<sup>4</sup> 同7例、

\*<sup>5</sup> 同8例、\*<sup>6</sup> 同5例、を含む

## 整形外科

【平成 29 年度 主な症例（手術）および実績】

（単位：件）

術式等	件数	術式等	件数
骨折	301	手の外科	184
骨接合術	191	骨・軟部腫瘍	11
抜釘術	110	脊 椎	30
人工骨頭挿入術	55	腰椎椎弓形成術	14
人工関節置換術	32	腰椎椎間固定術	4
股関節	10	腰椎椎間板摘出術	4
膝関節	22	頸椎椎弓形成術	2
関節鏡手術	32	頸椎固定術	1
膝関節	8	脊椎その他	5
手関節	22	そ の 他	30
肘関節	2	<b>合 計</b>	<b>675</b>

## 脳神経外科

当診療科では、脳神経、脊椎・脊髄領域の幅広い疾患に対して手術治療を行っております。昨今、増加傾向にある脳卒中に対する脳血管内手術や、脊椎・脊髄疾患に対する内視鏡治療なども積極的に取り入れ、脳卒中専門医、脳血管内治療専門医、脊椎・脊髄専門医などが個々の患者さんに対して最善・最新の治療法を提供するよう努めています。

【平成 29 年度 主な症例（手術）および実績】

（単位：件）

	疾患名・術式等	件数	疾患名・術式等	件数	
脳神経手術	脳腫瘍	3	脊椎・脊髄手術	頸椎症・頸椎椎間板ヘルニア	20
	脳動脈瘤	3		頸部脊柱管狭窄症	47
	外傷性頭蓋内血腫除去術	32		腰椎症・腰椎椎間板ヘルニア	20
	顔面痙攣	0		腰部脊椎管狭窄症	100
	経蝶形骨洞手術	1		脊髄腫瘍	2
	脳動脈瘤などに対する血管内手術	22		経皮的椎体形成術	5
	その他脳神経手術	38		その他脊椎手術	28
	脳神経手術件数	99		脊椎・脊髄手術件数	222
<b>総手術件数</b>				<b>321</b>	

# 産婦人科

## 【平成 29 年（1～12 月） 主な診療実績】

### <分娩数>

（単位：例）

総分娩数	315	双胎	2
帝王切開分娩	93 (26.3%)	吸引分娩	9

### <手術実績>

（単位：例）

婦人科手術総数	231	腹腔鏡下付属器腫瘍、子宮内膜症手術	56
腹式子宮全摘術	33	腹腔鏡下子宮外妊娠手術	2
腹式子宮筋腫核出手術（開腹、腹腔鏡）	8	子宮頸部部分切除術（円錐切除、LEEP）	30
子宮脱手術（腔式）	11	子宮鏡手術（粘膜下筋腫、内膜ポリープ）	35
子宮悪性腫瘍手術（広汎子宮全摘、準広汎子宮全摘＋リンパ節郭清）			10
子宮付属器悪性腫瘍手術（卵巣癌）			11

# 眼 科

## 【平成 29 年度の主な手術実績】

（単位：件）

術 式	件 数	術 式	件 数
白 内 障 手 術	406	後 発 白 内 障 手 術	58
眼 瞼 手 術	27	網 膜 光 凝 固 術	25
翼 状 片 手 術	10	虹 彩 光 凝 固 術	5
そ の 他	40	涙 管 チューブ 挿 入 術	2
<b>合 計</b>	<b>483</b>	<b>合 計</b>	<b>90</b>

# 耳鼻咽喉科

当診療科は平成 29 年 7 月に常勤医が交替したうえ 2 人から 1 人に減となり、平成 30 年 1 月からは常勤医不在となったため、例年に比べて平成 29 年度は手術症例の少ない 1 年となっております。しかし、平成 30 年 7 月より 1 人ではあります。常勤医体制が復活し、徐々に手術症例数を増やしていければと思っております。手術以外にも、頸部超音波ガイド下の細胞診、肺炎や神経疾患などで入院されている患者さんの嚥下機能評価といった検査も積極的に行っております。

## 【平成 29 年度の手術実績】

(単位：例)

先天性耳瘻孔摘出術	3	アデノイド切除術	4
鼓膜チューブ挿入術	1	咽頭良性腫瘍摘出術	2
鼓室形成術	3	喉頭微細手術	2
内視鏡下副鼻腔手術	10	気管切開術	1
鼻中隔矯正術	7	気管孔肉芽切除術	1
粘膜下鼻甲介骨切除術	4	頸部皮下腫瘍切除術	2
下口唇膿疱摘出術	1	頸部リンパ節生検術	9
唾石摘出術（口内法）	1	甲状腺悪性腫瘍手術	1
両口蓋扁桃摘出術	14	頸部郭清術	1
扁桃摘出後出血止血術	1	<b>合 計</b>	<b>68</b>

# 泌尿器科

## 【平成 29 年度の主な手術室手術件数】

(単位：件)

手術名	件数	手術名	件数
経尿道的前立腺切除術	33	腹腔鏡下腎盂形成術	3
ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術	49	腹腔鏡下副腎摘除術	2
開放前立腺被膜下摘除術	8	腹腔鏡下腔断端仙骨岬角固定術	4
経尿道的膀胱腫瘍切除術	66	経尿道的尿路結石破砕術	112
開腹膀胱全摘除術＋尿路変向術	2	経皮的腎結石破砕術	2
腹腔鏡下膀胱全摘除術＋尿路変向術	12	前立腺針生検法	119
腹腔鏡下膀胱部分切除術	3	包茎根治術	5
ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	15	腹腔鏡下ヘルニア根治術	5
腹腔鏡下腎摘除術	8	陰の水腫根治術	5
開腹腎摘除術	1	その他	18
腹腔鏡下腎尿管摘除術	9	<b>合 計</b>	<b>643</b>

(なお、体外衝撃波腎尿管砕石術約 30 例は上記手術件数に含めていません)

# 皮膚科

## 【新規入院患者数の推移】

(単位：名)

平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
85	110	123	118	113	134	132	112	157	165

## 【平成29年度の新規入院患者の内訳】

(単位：例)

疾患名	人数	疾患名	人数
細菌感染症	46	熱傷	5
ウイルス感染症	38	蕁麻疹(アナフィラキシーを含む)	7
良性腫瘍	18	多型紅斑	1
悪性腫瘍	12	下腿潰瘍	4
褥瘡	6	接触皮膚炎	2
偽痛風	1	血管炎	1
水疱症	7	アトピー性皮膚炎	1
中毒疹・薬疹	4	円形脱毛症	1
外傷(皮膚潰瘍・動物咬傷など)	3	その他	3
壊疽・潰瘍(虚血性 or 糖尿病性)	5	<b>合計</b>	<b>165</b>

例年どおり細菌感染症が46名(27.9%)と最も多かった。感染症は重症例も多く、汎発型帯状疱疹は20例であった。なお、死亡退院は1名であった。

## 【病理組織提出検体数の推移】

(単位：件)

平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
158	182	210	218	178	192	244	271	183	231

# 歯科口腔外科

## 【平成29年度 入院手術症例】

(単位：件)

疾患名	件数	疾患名	件数
埋伏歯抜歯(智歯、過剰歯など)	295	口腔癌(舌がんなど)	2
有病者の抜歯	60	顎骨骨折	5
顎骨嚢胞・良性腫瘍	35	歯性顎炎、インプラント摘出など	10

# 麻 醉 科

## 【平成 29 年度 麻醉科業務状況】

### < 麻醉科管理件数 (麻醉科依頼件数) >

(単位：件)

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	48	50	38	48	42	43	45	41	50	47	36	49	537
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
形成外科	0	0	1	0	2	0	1	1	1	0	0	0	6
呼吸器外科	11	11	13	11	12	7	7	12	10	12	7	14	127
産婦人科	30	26	25	16	31	30	29	17	28	29	29	27	317
歯科口腔外科	5	2	1	3	3	2	1	3	3	2	1	3	29
耳鼻咽喉科	0	2	3	3	10	2	6	8	8	0	0	0	42
心臓血管外科	9	7	7	13	8	10	10	9	10	13	14	6	116
整形外科	41	42	52	50	61	44	54	53	40	49	37	48	572
脳神経外科	20	18	11	14	15	19	19	20	29	18	18	18	219
泌尿器科	36	33	36	38	32	31	31	38	40	35	36	47	433
皮膚科	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
麻醉科	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
<b>合計</b>	<b>201</b>	<b>191</b>	<b>187</b>	<b>197</b>	<b>216</b>	<b>188</b>	<b>203</b>	<b>204</b>	<b>219</b>	<b>206</b>	<b>179</b>	<b>212</b>	<b>2,403</b>

### < 麻醉時間 (麻醉科管理) >

(単位：分)

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	194:45	217:40	153:34	157:05	155:56	154:37	187:25	174:53	177:56	173:40	163:36	189:55	2,101:02
眼科	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:07	0:00	0:00	1:07
形成外科	0:00	0:00	1:50	0:00	3:24	0:00	2:05	2:25	1:54	0:00	0:00	0:00	11:38
呼吸器外科	32:45	44:53	49:41	45:49	38:54	28:59	29:59	48:15	35:36	45:26	29:08	45:01	474:26
産婦人科	84:52	93:49	82:05	46:48	97:54	76:41	82:54	41:20	79:04	83:52	92:06	93:52	955:17
歯科口腔外科	9:52	3:31	4:39	6:26	6:40	3:46	2:38	5:21	8:09	4:18	1:17	4:55	61:32
耳鼻咽喉科	0:00	2:48	3:48	6:21	22:32	3:35	15:32	25:54	27:50	0:00	0:00	0:00	108:20
心臓血管外科	37:56	28:08	19:27	33:15	28:58	26:57	23:28	35:04	32:57	47:43	46:12	16:54	376:59
整形外科	129:44	131:03	184:54	138:38	182:39	136:15	173:01	172:21	111:54	142:45	116:29	148:59	1,768:42
脳神経外科	98:59	79:17	46:41	63:58	79:17	79:23	89:03	84:31	137:16	88:31	88:00	101:55	1,036:51
泌尿器科	85:00	123:38	100:18	111:14	88:49	86:54	87:16	101:16	115:05	97:30	113:34	142:53	1,253:27
皮膚科	1:50	0:00	0:00	3:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:25	0:00	6:16
麻醉科	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:44	0:00	0:00	0:00	0:00	1:44
<b>合計</b>	<b>675:43</b>	<b>724:47</b>	<b>646:57</b>	<b>612:35</b>	<b>705:03</b>	<b>597:07</b>	<b>693:21</b>	<b>693:04</b>	<b>727:41</b>	<b>684:52</b>	<b>651:47</b>	<b>744:24</b>	<b>8,157:21</b>

< 麻 醉 法 ( 麻 醉 科 管 理 ) >

( 単 位 : 件 )

診 療 科	全身麻酔 (吸入)	全身麻酔 (TIVA)	全身麻酔 (吸入) + 硬・脊・伝麻	全身麻酔 (TIVA) + 硬・脊・伝麻	脊椎 硬膜外 麻酔	硬膜外 麻酔 (仙骨)	脊椎 麻酔	伝達 麻酔	鎮静	合計
外 科	197	281	29	28	0	1	1	0	0	537
眼 科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
形 成 外 科	1	5	0	0	0	0	0	0	0	6
呼 吸 器 外 科	14	110	1	2	0	0	0	0	0	127
産 婦 人 科	6	123	2	49	6	1	130	0	0	317
歯 科 口 腔 外 科	6	23	0	0	0	0	0	0	0	29
耳 鼻 咽 喉 科	12	30	0	0	0	0	0	0	0	42
心 臓 血 管 外 科	46	67	3	0	0	0	0	0	0	116
整 形 外 科	67	114	163	224	0	0	3	0	0	571
脳 神 経 外 科	112	107	0	0	0	0	0	0	0	219
泌 尿 器 科	122	180	21	21	2	0	86	0	1	433
皮 膚 科	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
<b>合計</b>	<b>586</b>	<b>1,041</b>	<b>219</b>	<b>324</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>220</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>2,403</b>

病 理 診 断 科

【 検 体 数 の 年 次 推 移 ( 平 成 27 ~ 29 年 ) 】

検査別	組織診	術中迅速組織診	細胞診	剖検
平成 27 年	5,347	163	5,983	8
平成 28 年	4,909	170	6,013	6
平成 29 年	4,537	151	5,574	5

【 悪 性 腫 瘍 症 例 件 数 ( 平 成 27 ~ 29 年 ) 】

年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成 27 年	件数	94	101	130	99	99	108	113	121	91	106	105	115	1,282
	人数	84	87	107	86	84	90	95	96	76	90	84	93	1,072
平成 28 年	件数	110	121	137	98	85	97	125	119	136	99	94	114	1,335
	人数	86	89	99	80	71	81	98	90	105	81	77	98	1,055
平成 29 年	件数	103	111	104	87	113	94	109	85	95	103	113	114	1,231
	人数	84	91	92	74	89	76	87	70	81	81	92	93	1,010

年間約 5,000 件の病理組織診断と約 6,000 件の細胞診を行っています。平成 29 年における病理診断の実績は以下の通りです。なお、同一人に癌が多発あるいは重複していることや再検例もあるため、件数と人数は必ずしも一致しません。

【平成 29 年のがん手術症例の病理診断件数】

疾患名		件数
消化管癌	食道癌	6
	胃癌	41
	小腸癌	3
	大腸癌	67
膵臓癌		15
肝臓癌（転移・再発含む）		12
胆道（肝外胆管）癌・胆嚢癌		2
肺癌（転移を含む）		74
乳癌		35
前立腺癌		40
婦人科癌（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌など）		30

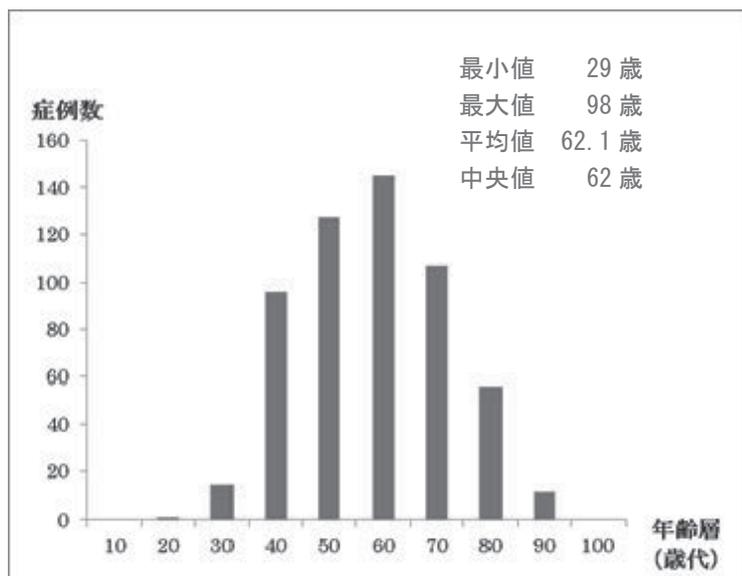
術中迅速診断	151
--------	-----

消化管内視鏡の切除症例は 533 例で、内訳は EMR(cold snare polypectomy を含む)457 例、ESD76 例です。

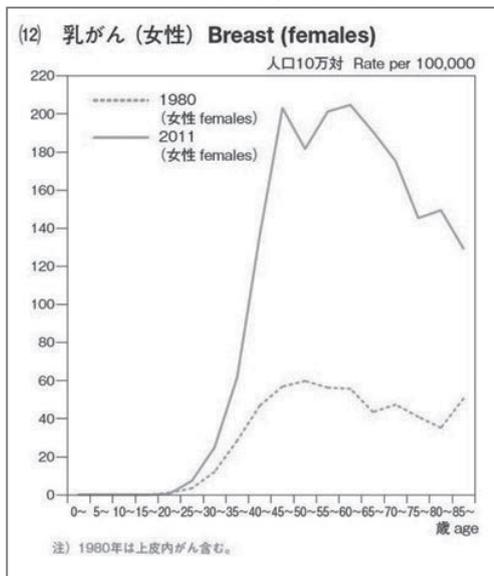
なお、消化管生検は 1190 例、肝生検は 27 例、膵腫瘍や胃粘膜下腫瘍などを超音波内視鏡ガイド下に穿刺吸引する EUS-FNA は 26 件ありました。他に、前立腺針生検 138 例、子宮内膜生検 295 例、子宮頸部生検 143 例、乳腺生検 44 例などです。

癌の分子標的治療などを行うかどうかを判断するためのコンパニオン診断として、外注検査ですが、Her2 検査は乳癌 51 例、胃癌 20 例、大腸癌の RAS 遺伝子検査を 24 例、肺癌の EGFR 検査 29 例、ALK 検査 9 例、PDL-1 検査 39 例施行しました。

大津市民病院で手術切除された乳癌患者（557 例）の年齢分布  
（2000 年 4 月～2018 年 3 月）



年齢階級別乳がん罹患率推移  
（1980 年、2011 年）



がんの統計' 15 (<http://ganjoho.jp>)

本院では 60 歳代にピークがある一峰性の正規分布となっています。

全国統計では 40～50 歳代と 60 歳代にピークがある 2 峰性の M 字型分布となっています。

若い人は乳癌の診断がついても、手術を受けに乳腺専門クリニックや都市部の病院に行く例が多いので、高齢側に偏した一峰性の分布になっています。

# 緩和ケア科

## 【平成 29 年度の診療状況】

<緩和ケア病棟入院状況>

(単位：件)

総 件 数		200
内 訳	院内からの紹介	86
	院外からの紹介	114
病 院		99

病 院 の 内 訳	大 津 赤 十 字 病 院	46
	滋 賀 医 科 大 学 医 学 部 附 属 病 院	30
	京 都 大 学 医 学 部 附 属 病 院	6
	洛 和 会 音 羽 病 院	7
	J C H O 滋 賀 病 院	1
	草 津 総 合 病 院	1
	ひ か り 病 院	1
	高 島 市 民 病 院	1
	愛 生 会 山 科 病 院	1
	京 都 府 立 医 科 大 学 附 属 病 院	1
	京 都 第 一 赤 十 字 病 院	1
	医 仁 会 武 田 総 合 病 院	1
	金 沢 医 療 セ ン タ ー	1
	N T T 東 日 本 関 東 病 院	1

診 療 所		15
-------	--	----

診 療 所 の 内 訳	大 津 フ ァ ミ リ ー ク リ ニ ッ ク	4
	玉 川 医 院	2
	い の う え 内 科 ク リ ニ ッ ク	1
	坂 本 民 主 診 療 所	1
	し ん じ ょ う ク リ ニ ッ ク	1
	だ け だ ク リ ニ ッ ク	1
	田 中 フ ァ ミ リ ー ク リ ニ ッ ク	1
	ハ ッ ピ ー ね も と ク リ ニ ッ ク	1
	ほ ん だ ク リ ニ ッ ク	1
	ま つ だ 医 院	1
	美 崎 フ ァ ミ リ ー ク リ ニ ッ ク	1

<緩和ケア病棟入院患者状況>

年度	入 院 件 数	平均在院日数	紹 介 元	
			院 内	院外(うち診療所より)
平成 27 年度	184 件	27.6 日	102 件	82 件 (10 件)
平成 28 年度	203 件	26.9 日	87 件	116 件 (15 件)
平成 29 年度	200 件	28.6 日	86 件	114 件 (15 件)

<緩和ケア外来受診者数>

(単位：人)

年度	初診	再診	合計
平成 27 年度	250 (院内 185 / 院外 65)	139	<b>389</b>
平成 28 年度	297 (院内 76 / 院外 221)	66	<b>363</b>
平成 29 年度	299 (院内 88 / 院外 211)	72	<b>371</b>

依頼内容 (複数選択)

依頼内容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
身体症状	疼 痛	32	50	57
	呼 吸 困 難 感	6	3	10
	全 身 倦 怠 感	18	6	12
	嘔 気	3	21	9
	腹 部 膨 満 感	2	9	5
	排 便 コ ン ト ロ ー ル	1	1	0
	リ ン パ 浮 腫	12	15	9
精神症状	不 安	36	50	34
	睡 眠 障 害	2	3	0
	せ ん 妄	2	2	1
療養関係	療養場所や今後の相談	16	23	25
家族ケア	家 族 支 援	12	15	12

\*睡眠障害・せん妄の件数が少ないのは、精神・心療内科外来への紹介が多いため。

# 手術部

## 【平成 29 年度 手術業務状況】

<手術件数・麻酔件数>

(単位：件)

診療科		外科	整形外科	脳神経外科	心臓血管外科	歯科口腔外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	呼吸器外科	形成外科	麻酔科	合計
A 予定		499	624	209	200	336	485	58	107	566	278	124	46	1	<b>3,533</b>
予定時間外		77	130	27	11	1	2	10	3	101	38	12	0	0	<b>412</b>
麻酔	全身麻酔	414	517	203	116	288	0	39	0	333	173	124	6	0	<b>2,213</b>
	腰椎麻酔	6	3	0	0	0	0	0	0	82	100	0	0	0	<b>191</b>
	硬膜外麻酔	17	0	0	0	0	0	0	0	89	5	0	0	0	<b>111</b>
	局所麻酔	62	104	6	84	48	485	19	107	62	0	0	40	1	<b>1,018</b>
B 臨時		127	63	43	7	0	0	4	2	78	40	3	0	1	<b>368</b>
臨時時間外		83	34	16	2	0	0	3	1	35	20	2	0	0	<b>196</b>
麻酔	全身麻酔	123	52	16	3	0	0	3	1	17	7	3	0	0	<b>225</b>
	腰椎麻酔	0	0	0	0	0	0	1	0	5	31	0	0	0	<b>37</b>
	硬膜外麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2	0	0	0	<b>10</b>
	局所麻酔	4	11	27	4	0	0	0	1	48	0	0	0	1	<b>96</b>
外来		9	84	1	19	2	213	10	78	40	1	0	34	0	<b>491</b>
<b>計 (A+B)</b>		<b>624</b>	<b>687</b>	<b>251</b>	<b>206</b>	<b>335</b>	<b>482</b>	<b>61</b>	<b>108</b>	<b>643</b>	<b>317</b>	<b>127</b>	<b>45</b>	<b>1</b>	<b>3,889</b>

# 化学療法部・化学療法委員会

## 【平成 29 年度治療実績】

年間利用件数：2,249 件（平成 28 年度：1,861 件）

### 【各科別治療件数】

（単位：件）

外科	1,015	大腸癌、乳癌、膵癌、胆道癌など
内科	305	血液悪性疾患など
呼吸器内科	258	肺癌など
消化器内科	437	胃癌、大腸癌、肝癌（動注）、胆道癌、炎症性腸疾患など
泌尿器科	39	腎癌、前立腺癌など
婦人科	31	卵巣癌、子宮癌など
歯科口腔外科	30	舌癌など
オリエンテーション	131	平成 28 年度：104 件

### 【利用患者数 月計表】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液内科 点滴	16	14	11	9	14	13	18	23	15	20	17	17	187
血液内科 皮下注	7	10	12	7	8	10	12	13	10	11	7	14	121
外科 点滴	79	81	95	80	86	89	87	82	75	88	85	88	1,015
消化器内科 点滴	19	24	26	27	23	38	31	31	31	24	24	28	326
消化器内科 レミケード	6	8	7	9	6	7	7	8	6	7	7	10	88
呼吸器内科 点滴	16	22	33	15	24	21	19	17	20	22	22	27	258
泌尿器科 点滴	5	2	6	4	5	3	3	2	1	1	1	6	39
歯科	2	1	2	2	3	2	2	1	2	5	4	4	30
婦人科	4	3	2	2	3	2	2	3	2	3	2	3	31
<b>化学療法治療者 総数</b>	<b>156</b>	<b>168</b>	<b>197</b>	<b>157</b>	<b>174</b>	<b>188</b>	<b>182</b>	<b>181</b>	<b>165</b>	<b>183</b>	<b>169</b>	<b>198</b>	<b>2,118</b>
オリエンテーション	10	13	11	12	8	13	7	10	11	12	14	10	131
<b>利用者合計</b>	<b>166</b>	<b>181</b>	<b>208</b>	<b>169</b>	<b>182</b>	<b>201</b>	<b>189</b>	<b>191</b>	<b>176</b>	<b>195</b>	<b>183</b>	<b>208</b>	<b>2,249</b>
ケモ後入院	2	3	3	2	2	3	1	1	3	2	0	1	23

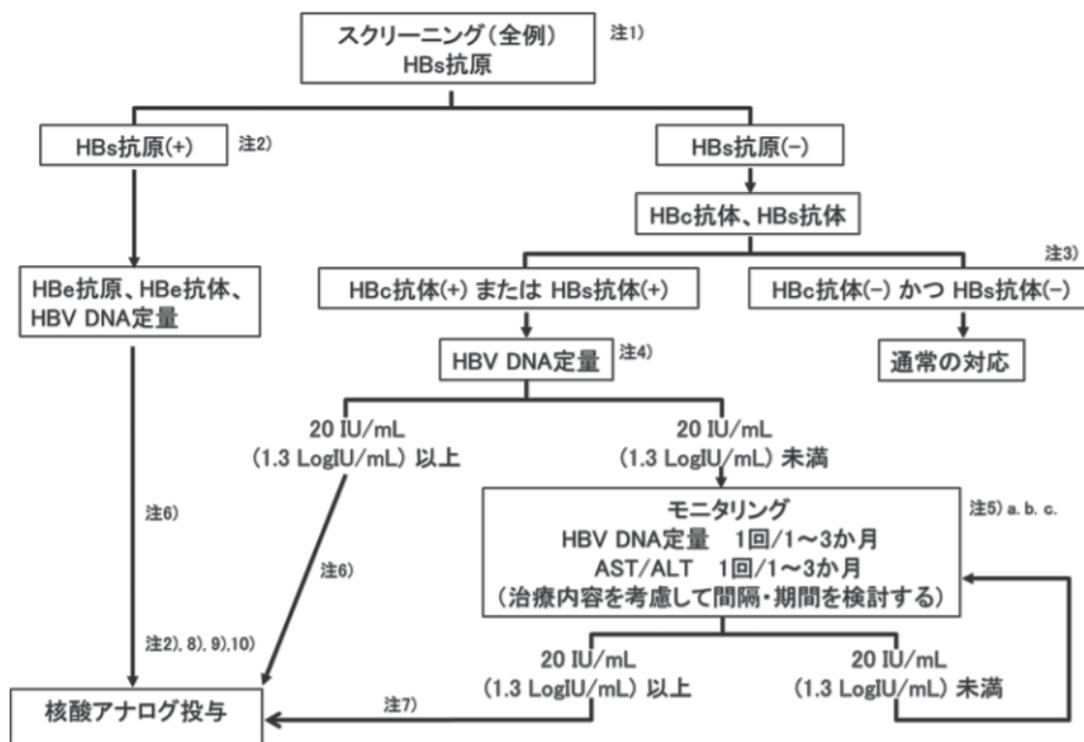
化学療法委員会では、平成 25 年以降、B 型肝炎再活性化に伴う重症肝炎を予防する目的で、B 型肝炎治療ガイドラインに従い、抗がん剤・免疫抑制剤を使用する患者の B 型肝炎関連検査状況を毎月調査し、検査不足症例の把握と再活性化の早期発見などに努めている。

【月別 B 型肝炎関連検査実施状況】

平成 28 年度症例数：1,412 件 スクリーニング実施率 90.9% (1,283 件) 再活性化 0 件  
 平成 29 年度症例数：1,721 件 スクリーニング実施率 97.4% (1,676 件) 再活性化 0 件



(参考) 免疫抑制・化学療法により発症する B 型肝炎対策ガイドライン (2017/8)



# 外来通院手術部

## 【診療科別手術件数】

(単位：名)

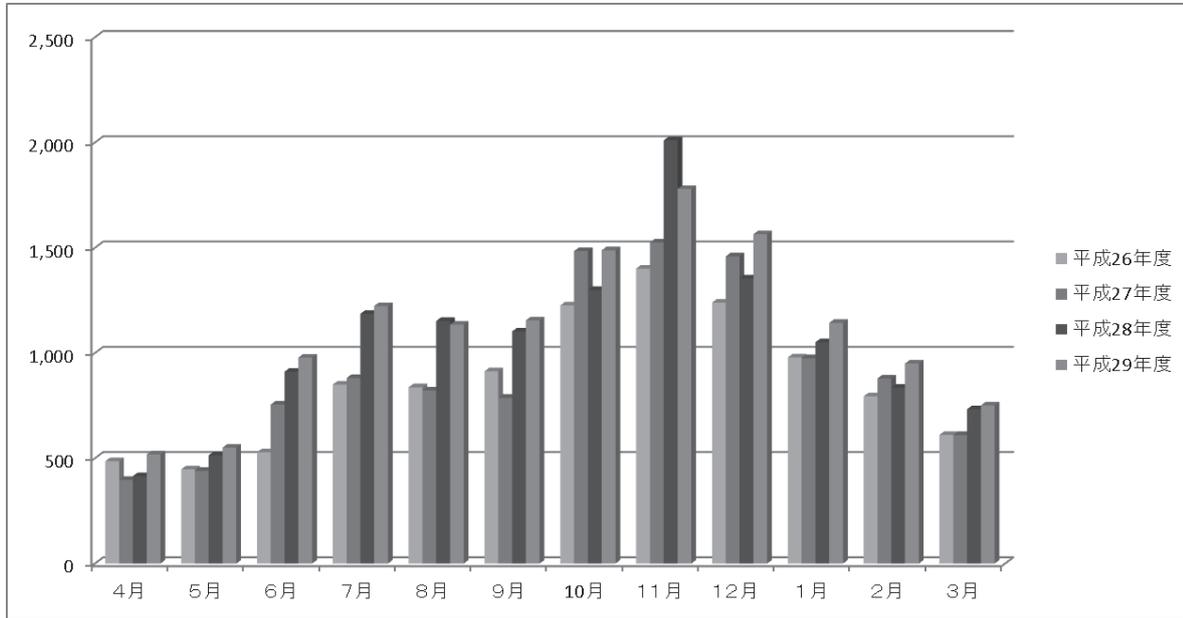
診療科	件数	術式等
外科	211	小児・成人鼠径ヘルニア（腹腔鏡下修復術および鼠径法）、腹腔鏡下胆嚢摘出術、痔疾患、乳腺腫瘍摘出術など
眼科	209	白内障手術、眼瞼下垂、硝子体注射など
泌尿器科	152	E SWL、前立腺生検、包茎手術、経尿道的手術など
整形外科	118	抜釘術、腱鞘切開術、腫瘍摘出術など
皮膚科	98	皮膚腫瘍摘出術など
婦人科	59	
形成外科	43	
心臓血管外科	27	内シャント形成術、下肢静脈瘤など
歯科口腔外科	25	抜歯など
耳鼻咽喉科	14	鼻内視鏡手術、頸部腫瘍摘出術など
<b>合計</b>	<b>956</b>	

# 健診センター

## 【利用者数推移】

(単位：人)

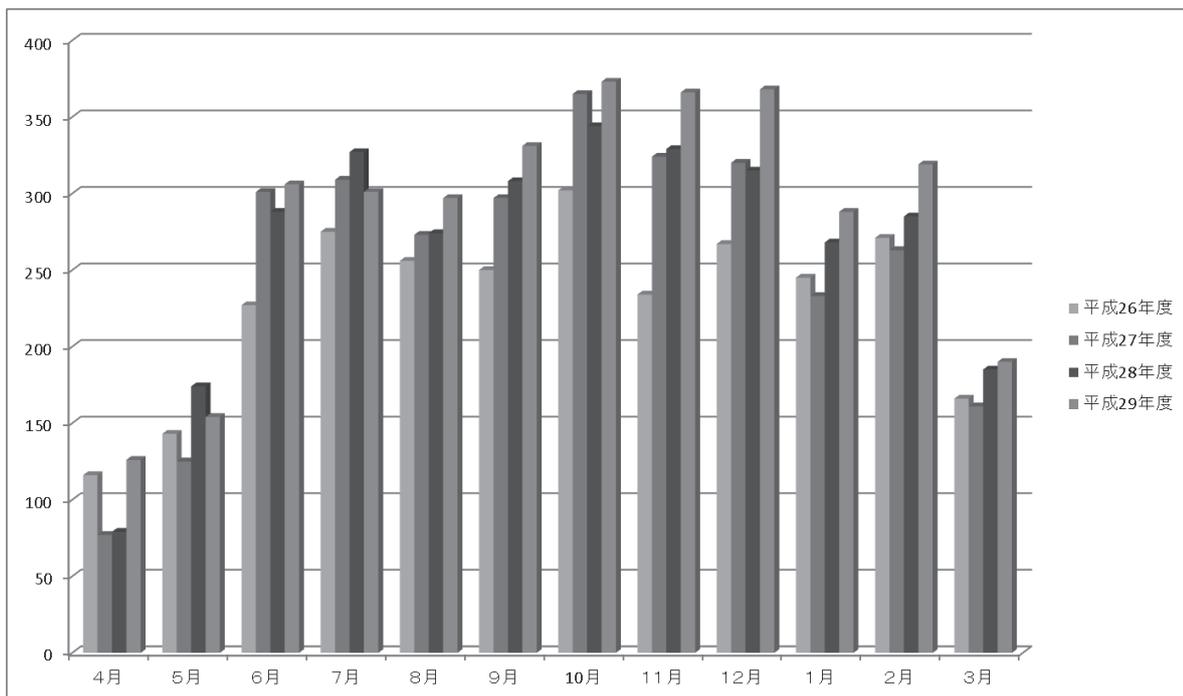
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	486	447	528	850	837	913	1,226	1,401	1,239	979	794	611	<b>10,311</b>
平成27年度	397	440	755	881	822	787	1,484	1,525	1,459	975	879	610	<b>11,014</b>
平成28年度	415	514	911	1,186	1,152	1,102	1,299	2,010	1,354	1,051	835	733	<b>12,562</b>
平成29年度	518	550	978	1,223	1,135	1,155	1,488	1,779	1,564	1,143	950	751	<b>13,234</b>



## 【人間ドック月別受診者数推移】

(単位：人)

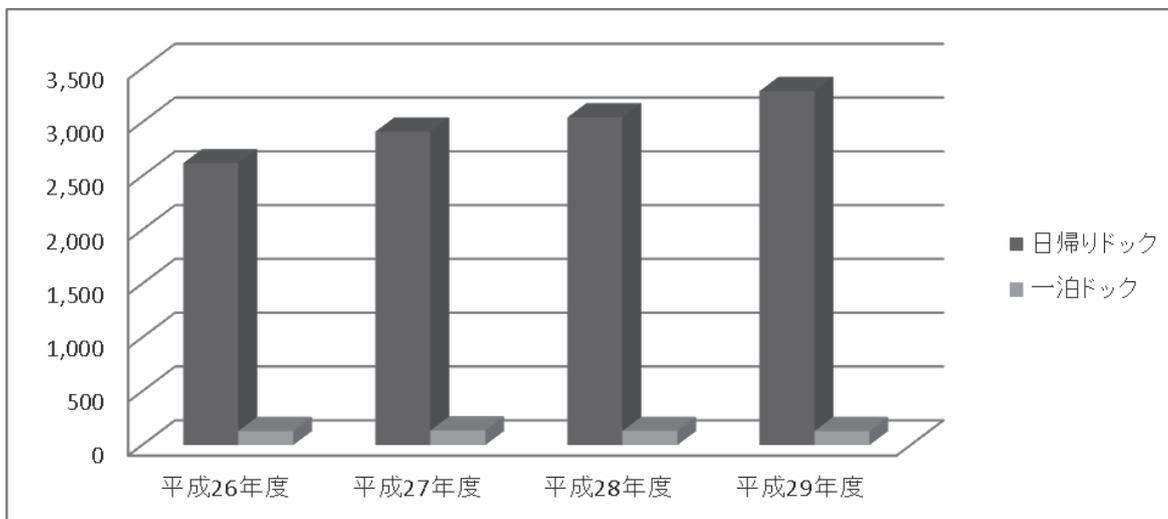
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	116	143	227	275	256	250	302	234	267	245	271	166	<b>2,752</b>
平成27年度	77	125	301	309	273	297	365	324	320	233	263	161	<b>3,048</b>
平成28年度	79	174	288	327	274	308	344	329	315	268	285	185	<b>3,176</b>
平成29年度	126	154	306	301	297	331	373	366	368	288	319	190	<b>3,419</b>



【人間ドックコース別受診者数推移】

(単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
日帰りドック	2,620	2,913	3,045	3,289
一泊ドック	130	135	131	130
<b>合 計</b>	<b>2,750</b>	<b>3,048</b>	<b>3,176</b>	<b>3,419</b>



【日帰りドック受診者数推移】

(単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
日 帰 り ド ッ ク	2,176	2,396	2,531	2,631
日 帰 り ド ッ ク + 脳	338	362	313	325
日 帰 り ド ッ ク + 肺	34	52	49	45
日 帰 り ド ッ ク + 大 腸 C T	-	-	21	90
日 帰 り ド ッ ク + 膵 が ん 検 診	-	-	-	7
日 帰 り ド ッ ク + 脳 + 肺	9	32	27	16
日 帰 り ド ッ ク + 脳 + 大 腸 C T	-	-	3	18
日 帰 り ド ッ ク + 脳 + 膵 が ん 検 診	-	-	-	0
日 帰 り ド ッ ク + 肺 + 大 腸 C T	-	-	2	3
日 帰 り ド ッ ク + 肺 + 膵 が ん 検 診	-	-	-	1
日 帰 り ド ッ ク + 大 腸 C T + 膵 が ん 検 診	-	-	-	6
日 帰 り ド ッ ク + 脳 + 肺 + 大 腸 C T	-	-	0	4
日 帰 り ド ッ ク + 脳 + 大 腸 C T + 膵 が ん 検 診	-	-	-	1
日 帰 り ド ッ ク + 肺 + 大 腸 C T + 膵 が ん 検 診	-	-	-	0
日 帰 り ド ッ ク + 脳 + 肺 + 膵 が ん 検 診	-	-	-	2
日 帰 り ド ッ ク + 脳 + 肺 + 大 腸 C T + 膵 が ん 検 診	-	-	-	1
脳 ド ッ ク	59	66	72	93
肺 ド ッ ク	4	5	8	5
大 腸 C T 検 査	-	-	19	31
膵 が ん 検 診	-	-	-	10
<b>合 計</b>	<b>2,620</b>	<b>2,913</b>	<b>3,045</b>	<b>3,289</b>

【一泊ドック受診者数推移】

(単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一泊ドック	102	91	78	78
一泊ドック＋脳	22	36	42	28
一泊ドック＋肺	4	3	4	4
一泊ドック＋大腸CT	-	-	1	13
一泊ドック＋膵がん検診	-	-	-	1
一泊ドック＋脳＋肺	2	5	5	1
一泊ドック＋脳＋大腸CT	-	-	0	3
一泊ドック＋脳＋膵がん検診	-	-	-	0
一泊ドック＋肺＋大腸CT	-	-	0	0
一泊ドック＋肺＋膵がん検診	-	-	-	0
一泊ドック＋大腸CT＋膵がん検診	-	-	-	0
一泊ドック＋脳＋肺＋大腸CT	-	-	1	2
一泊ドック＋脳＋大腸CT＋膵がん検診	-	-	-	0
一泊ドック＋肺＋大腸CT＋膵がん検診	-	-	-	0
一泊ドック＋脳＋肺＋膵がん検診	-	-	-	0
一泊ドック＋脳＋肺＋大腸CT＋膵がん検診	-	-	-	0
<b>合計</b>	<b>130</b>	<b>135</b>	<b>131</b>	<b>130</b>

【人間ドック要精査から発見された悪性疾患】

(単位：件)

疾患名	平成 28 年度	平成 29 年度*
上咽頭癌	-	1
食道癌	1	-
胃癌	2	5
大腸癌	7	8
胆嚢癌	1	-
膵癌	1	-
肺癌	1	3
前立腺癌	5	10
膀胱癌	-	2
尿管癌	-	1
腎癌	1	3
子宮体癌	1	-
悪性リンパ腫	2	-
<b>合計</b>	<b>22</b>	<b>33</b>

\*平成 29 年度実績は平成 30 年 4 月 25 日現在の件数

【大津市検診・健診受診者数推移】

(単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
胃がんリスク	177	153	114	60
胃がん(内視鏡)	-	-	-	3
大腸がん	441	527	611	639
肺がん	1,468	1,426	2,750	2,350
肝炎	201	171	129	76
乳がん	967	1,020	991	1,334
子宮がん	170	174	182	265
特定健診	624	675	670	710
<b>合計</b>	<b>4,048</b>	<b>4,146</b>	<b>5,447</b>	<b>5,437</b>

【禁煙外来・ワクチン受診者数推移】

(単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
禁煙外来	164	130	101	52
肺炎球菌ワクチン	156	112	126	121
インフルエンザ	70	112	79	109
その他のワクチン	43	30	73	51
<b>合計</b>	<b>433</b>	<b>384</b>	<b>379</b>	<b>333</b>